

登録コード	A3596437	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	諸白 家奈子
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	研究室配属の4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					動物生殖学分野および生殖工学分野の研究に必要な実験手法を習得する。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					生殖細胞工学技術が発展することによってどのような問題が生じるのか理解する。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					動物生殖学分野および生殖工学分野の研究に必要な実験手法を習得する。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					生殖細胞工学技術が発展することによってどのような問題が生じるのか理解する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	動物生殖科学における新たな知見を得るため、生殖細胞工学技術を用いた実験を実施し、実験結果を多角的な視点から評価・検討後、論理的な文章の作成方法を実践する。						
(5)授業計画	1. 研究テーマに関連した論文および他分野の研究領域に関する論文を幅広く読解し、実験計画の立案に役立てる 2. 実施した実験結果について研究室メンバーと議論を行い、研究を進める 3. 研究内容を論理的な文章で表現する（卒業論文の作成） 4. 研究内容を適切に説明し、論理的な質疑応答を行う						
(6)自主学習の指針	研究テーマに関連した専門分野の論文や専門書を積極的に読み、教員を含む研究室メンバーと内容の議論を自主的に行う。						
(7)成績評価の基準	1) 専門分野内外の論文を幅広く読み、研究テーマの発展に努め、2)議論等を積極的に行い、3)研究内容について論理的な文章で表現し、4)適切に説明することが求められる。 1～4が十分に達成できていれば、かなり上にある、概ね達成できていれば、やや上にある、基本事項が達成できていれば、水準に達している。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習として専門論文の読解を求める。						
(9)テストやレポートの予定	実施した実験内容および結果を科学論文の形式で作成したレポートを定期的に提出し、添削を受ける。						
(10)成績評価の方法	専攻研究発表、論文提出および論文の内容をもって総合的に評価する。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員が随時受付ます。						
(12)履修上の注意	特になし						
【教科書】	特になし						
【参考書】	特になし						